

いちごこの会

社名の由来

いちごこの会の名前の由来の一つとして「一期一会」があります。利用者様との出会いを「縁」として大切にandraえ、家族が持つ愛情をもって絆を深めていく事を目標としています。どの事業も利用者様が安心でき、楽しめることを最大の目的とし、誰からも1番に選ばれる存在でありたいと考えています。
 そのために全てのスタッフは、愛情豊かで、誰をも支えられるようなプロであるべきと考えています。



グループ会社の紹介

いちごこの会は平成10年に東久留米市で有償ボランティア活動を開始しました。

同年に、高齢者の老後の住まいなどを考える事務所として、シニアライフ研究所を立ち上げ、高齢者向け優良賃貸住宅の東京都第一号の認定や、認知症高齢者グループホームの立ち上げ、そして知的障害者グループホームの企画立案などを行ってきました。また、子育て向け優良賃貸住宅のモデル事業の認定取得の際、現在のいちご保育園の計画も担ってきました。

平成25年には千代田区神田に社会福祉法人いちえ会を設立し、都市型軽費老人ホームの運営を行っています。

令和2年には不動産管理を20年間にわたり行ってきた会社とシニアライフ研究所を合体して(株)ラフレーズを設立し高齢者の方々に優しい不動産屋さんを目指して営業を始めました。
 令和4年には清瀬市にて20年以上にわたり福祉活動を行ってきた、社会福祉法人清悠会がグループに参入しました。この法人は17年前に同法人が認知症高齢者グループホームを立ち上げる時にシニアライフ研究所が関わった経緯がある法人です。

これで見えこの会のグループ法人は合計で4法人(NPO法人いちこの会・社会福祉法人いちえ会・社会福祉法人清悠会・株式会社ラフレーズ)になり、元気な高齢者のための住まい、自身での食事などが困難になってきたときの住まい、認知症状が出てきたときの住まいの提供や、在宅でのサービスの提供もこれらの法人にて提供できるようになりました。

また、平成28年開設のこもれび千桜(千代田区)と令和4年にいちこの会にて取得したこもれび清瀬(清瀬市)はいちこの会が家主となっている住宅です。特にこもれび清瀬は高齢者の方だけでなく、障害をお持ちの方も入居できるような住宅で、安心して安全に住まえる住宅を求める様々な方々のニーズに応えられるようにとグループ全体で頑張っています。

FEATURE

高齢者住宅こもれび

高齢者向け優良賃貸住宅という国の制度を利用した建物であり、行政から建築補助金や住民へ家賃の補助金が出るために比較的家賃が安い高齢者向けの賃貸住宅です。バリアフリー設計、機械による時間安否確認が完備されている他、いちこの会のスタッフが常駐し対面による安否確認や入居者の安定した生活のためのお手伝いを行います。毎日顔を合わせるからこその体調の変化にいち早く気づき、込み入った相談ができています。長男長女が毎日来てくれていたようにだと入居者に思ってもらえる関係を構築していきます。

都市型経費老人ホーム ケアハウス神田紺屋町

お部屋は個別、風呂、トイレは共同、食事は朝、昼、夜と食堂で用意されます。掃除も調理もスタッフがいますが、外出は自由です。介護度が進み、独居で生活するのが困難になってきた方が選択肢の一つとして入居されています。入居者とスタッフそれぞれが親密で、大きな家の大家族のような関係を築きます。

サービスの特徴

グループホーム

認知症として介護度を取得された方が、支援者と共同生活をする中で認知機能の改善につなげられるように、楽しく平穏で充実した日々を送れるように環境を整えます。

居宅・介護支援事業所

困っている人のお役に立ちたいという初心を今も忘れておりません。こもれび住宅ではヘルパーと管理人が密接に連携を取ることができるので、入居者は他事業所よりも利用しやすく、スムーズで、手厚いサービスを受けられます。

ほいくえん

三つ子の魂100までと言われておりますように、立派な大人になるための最初の一步を踏み出す大切な時期にある子どもたちに、家族のような愛情を注いで、保護者の方とともに大切に育てていきたいと考えています。いちご保育園は園児がいつも楽しいと思うような、また卒園生が誇りに思うような園を目指しています。

